

JAグループ香川  
食料安全保障アンバサダー

# 出前講座

のご案内

講演料 無料

## 一緒に香川の食と農の未来を考えませんか？

食料は、人間の生命の維持と健康で充実した生活に欠くことができないものです。

このため、全ての国民が将来にわたって良質な食料を合理的な価格で入手できる社会の実現…すなわち、「食料安全保障の確立」が必要です。その一方で、低下する食料自給率と値上げが続く食料品、耕作放棄地や鳥獣害の拡大、生産者の高齢化など、食料安全保障が脅かされています。

こうしたなかで、食料安全保障アンバサダーが、食料安全保障の重要性と、香川の食と農に関する情報を発信します！

●受付期間 令和5年4月1日～令和6年3月末

●受講対象者 県内学校、市民団体、企業等

●講演時間 1時間程度

●日時 原則平日とし、土・日・祝祭日・年末年始を除く  
(講師の日程と調整させていただきます)

●場所 お申込者で開催場所の確保をお願いします

●講演料 無料

JAグループ香川が負担します。

ただし県外の場合、旅費は別途相談させていただきます

お気軽にご相談ください。皆さまのお申し込みをお待ちしております。



JAグループ  
耕そう、大地と地域のみらい。

詳しくは裏面を  
ご確認ください。

# 食料安全保障を考える アンバサダーのご紹介

テーマ  
1

## 日本の食料安全保障

— 医食同源・食と健康の関係について —

日本は世界有数の長寿国。  
新鮮な農畜産物と素晴らしい日本食が、健康の源です。

ながおせいご  
**長尾 省吾**

元国立大学法人香川大学学長  
元JA香川厚生連理事長

戦後の食糧難のさなか、畑を開墾しながら自然と動物に親しみ、医師を志す。脳神経外科を専門として、岡山大学医学部、香川大学医学部において医療に従事するとともに、JA香川厚生連の屋島総合病院・滝宮総合病院の再開発と若手医師・学生教育に取り組んだ。香川大学学長となった際は、学部の枠を超えた教育制度の確立と創造工学部の新設等に尽力し、学長退任後はJAグループ香川との包括連携協力協定の橋渡しを行う。



テーマ  
2

## 美味しい農産物は健康な土から

— 堆肥は宝・循環型農業の未来について —

「儲かる農業」がすべて正しいわけではない。  
たいせつなのは、地域のための農業だ。

あかまつしょういち  
**赤松 省一**

有限会社赤松牧場  
取締役会長

19歳のとき、父の急逝により農業を継ぐ。乳牛5頭から始まった酪農は、現在500頭に増え、年間2,500tの生乳を国内主要メーカーを通じて全国に出荷している。全農酪農経営体験発表会（平成29年）において最優秀賞を受賞。「堆肥は宝」の方針のもと、良質な堆肥を農家へ提供し、循環型農業を実践。牧場に併設するショップでは搾りたての牛乳を使用した本格的なジェラートを販売するなど、加工にも積極的に取り組む。



テーマ  
3

## ファンが集う奇跡の集落

— 拝啓、<sup>ごみょう</sup>五名は元気です —

食べるということは、生きるということ。  
無農薬や農村の魅力を伝えたい。

きむらきょうこ  
**木村 京子**

元JA香川県女性部部长  
香川県農業士

地域の高齢化と過疎化、農業の鳥獣害被害を何とかしようと、地元の主婦たちと力を合わせ、地元農産物・加工品の販売や地域交流等の拠点「五名ふるさとの家」（現「産直カフェ五名ふるさとの家」）を設立。農業やジビエによる特産品づくりに取り組むほか、香川県むらの技能伝承士として地域の伝統継承、農業研修生の受入れ等担い手の育成や移住希望者への支援等、地域に根ざした活動を積極的に実施している。



香川県農業協同組合中央会（担当：大村・安藤）

お申込み・  
お問合せ先

TEL.087-825-2503 / FAX.087-826-1085 / E-mail soumu@chu-kw-ja.jp

お申し込みの際は、氏名（団体名）、ご連絡先、ご希望の講師（アンバサダー）およびテーマ、おおよその受講者数、ご希望の開催時期および場所をお知らせください。なお、お申込みいただいても、ご希望に沿えない場合があります。あらかじめご了承ください。